

コロナのことおしえて！ パトスせんせい

つつみゆたか(文) つつみくみ(絵)

藤田医科大学ばんだね病院病理診断科

稲田健一

コロナ感染予防のための絵本出版！！

2020 年来、新型コロナウイルス (COVID-19) 感染症が世界中で猛威を振るっている。発見から 1 年以上が経ち、ウイルスに関する基礎的、臨床的新知見が蓄積され、ようやくワクチンの開発が進み、今まさにわが国でも接種が始まろうかというときに、小学校低学年児童と保護者向けの COVID-19 に関する良書が発刊された。著者は感染症病理学の第一人者、藤田保健衛生大学(現藤田医科大学)医学部病理学前教授、堤寛氏である。氏の活動範囲は医学領域にとどまらず、教育、福祉、国際交流、音楽など多岐にわたり、教授在職中から多くの論文や書籍を執筆するとともに、国内外にさまざまな社会的貢献をもたらしてきた。COVID-19 に関する成書はすでに世に多く出版されているが、小児対象の良書はこれまではなく、今回、氏の手によって初めて刊行された。

本書は楽しいイラストを豊富に用いた絵本である。氏自身がパトス先生として登場し、全 16 問の対話形式で感染症についてわかりやすく解説している。イラストは氏の四女である堤久美氏の手による。本の企画は妻の佐代子氏であり、本書は氏一家の一致団結のたまものといえよう。本書では COVID-19 は、その形態学的特徴をもとに“ちびわるコロナ”としていがぐりのようなイラストで描かれているが、これがとても憎たらしくもあり、かわいらしくもあり、子どもの心に印象深くスッと入り込んでいく。

解説内容は COVID-19 にとどまらず感染症全般に及び、大事な点はページを割いて繰り返し述べられている。具体的には、感染症とはどういう病気なのかという説明から始まり、感染症の原因

は何か、人はどうして感染症にかかるのか、私たちはどのようにして感染症から身を守ればよいのか、かかったらどうすればよいのかといった内容がイラストとともに順序立てて解説されている。

なかでも予防に関する説明にはかなりの重点が置かれており、感染症から身を守るための第一歩というべき“手洗い”，“うがい”，“歯磨き”に関しては 10 ページにわたって非常に丁寧に解説されている。これは氏が以前に、アジアのとある発展途上国の水道も電気もない村の子どもたちに、数年かけて行ってきた衛生教育の経験が事に生かされている。本書にも紹介されている手洗い歌は現地の子どもたちに大人気で、その結果、知らず知らずのうちに井戸水による手洗いが習慣となり、数年後には子どもたちの健康状態が劇的に改善されていったのである。

本書は、表向きには小学校低学年の児童と保護者が対象であり、通読すれば楽しみながら感染症に対する基本的な理解と知識が自然と身に付くように工夫されているが、大人が読んでも手軽に知識の再確認がなされる良書である。今後、私たちが遭遇する可能性のある未知の感染症との闘いにおいて、これらの知識が効率的に生かされることが期待される。



●20 cm×21 cm/頁 46/2020 年
定価：本体 1,454 円＋税
[ISBN978-4-9911659-0-0]
申し込みは E-mail : pathos223
@kind.ocn.ne.jp あるいは
Fax : 0587-96-7098, 堤寛ま
で
Pathogenarts 出版 刊